

地域課題

- ・有害鳥獣捕獲担当者の見回り負担増加
- ・捕獲失敗の場合、警戒心が高まり捕獲が難しい

解決

- ・トレイルカメラで遠隔監視
- ・遠隔でオリを操作し一斉捕獲

現場

トレイルカメラ



映像



- ・動体検知で自動撮影
- ・定時撮影

- ・撮影画像をメール通知
- ・撮影画像をクラウドに蓄積・いつでも閲覧可

映像データ

IoT自動捕獲 罠



遠隔操作

4G

事務室



事務所にいながら捕獲状況の把握が可能
⇒見回り負担の軽減



親イノシシが檻に入ったことを確認して遠隔操作可能
⇒捕獲率向上

☆大容量・低遅延・多数接続の特長を有する5Gの活用可能性により更なる効率化に期待

